

【評価対象年度 2023年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	デイサービス三輪		
施設概要	【所在地】町田市三輪四丁目14番1号 三輪コミュニティーセンター1階 【開設年月】2002年6月 【開館日時】月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)／8時30分～17時30分 【建物面積】298.86㎡ 【建物内容】機能訓練室兼食堂、厨房、浴室、脱衣室、トイレ(男、女、多目的)、相談室(1室)、静養室(1室) 他 【建物構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建(うち1階部分)		
設置目的	市内の介護を要する在宅の高齢者等を通所させ、介護保険法に基づくサービス等を提供することにより、その者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。		
設置根拠法令・条例	町田市高齢者在宅サービスセンター条例		
所管部課	いきいき生活部いきいき総務課	問合せ先	042-724-3291
施設ホームページURL	https://www.tsurukawakinen.or.jp/homecare/daysservice.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	医療法人社団 三医会	法人番号	2012305000267
指定管理者所在地	町田市三輪町1059番地1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	介護保険法、町田市高齢者在宅サービスセンター条例に基づき、以下に示す事業を行う。 ・法第8条第7項に規定する通所介護 ・法第115条の45第1項第1号口に規定する第一号通所事業		
利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
医療・介護サービスの連携による栄養指導の実施	2023年度	鶴川記念病院栄養科と連携して栄養スクリーニング及び栄養改善を実施【1名】
医療・介護サービスの連携によるリハビリテーションの実施	2023年度	鶴川記念病院リハビリテーション科と個別機能訓練を実施【69名】
医療・介護サービスの連携による普及啓発事業の実施	2023年度	FC町田ゼルビアと連携してフレイル予防教室を実施

3. 昨年度の課題

内容	選定時の提案内容の実施できていない取組みについて、感染予防をした上で実施できる方法を検討する。また、医療・介護サービスの連携による栄養指導の実施について、栄養スクリーニングの導入人数の増加に向けて積極的な利用を呼びかける。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	「2.選定時の提案内容」及び「3.昨年度の課題」について、普及啓発事業は2023年度から開始することができた。今後も継続して地域住民への普及啓発を実施してほしい。栄養指導の実施に関しては、声掛けを継続していたが、利用者数を伸ばすことができなかった。 「5.サービスの質に関する評価」について、利用者満足度は目標値を達成できず最終年度のみB評価となったが、利用率は向上し、指定期間を通してA評価を維持した。 次期指定期間の初年度である2024年度に向けては、利用者満足度の改善を進め、医療・介護サービスによる事業の充実を図ってほしい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	【選定時の提案内容】 医療・介護サービスの連携による栄養スクリーニングの実施:対象となる新規の利用者や既存の利用者に声掛けを行ったが、本人、家族の理解を得ることが難しく、昨年度の1名から増やすことはできなかった。 医療・介護サービスの連携によるリハビリテーションの実施:鶴川記念病院リハビリテーション科と連携し、共同で機能訓練計画の作成。73名の登録者のうち、69名の機能訓練を実施した。 【昨年の課題への取り組み】 近隣住民に向けた自主事業への取り組み強化:FC町田ゼルビアに協力頂き、フレイル予防教室を実施し、9名の地域住民に参加いただいた。次年度は、近隣住民へ向けた取り組みを強化したい。 【サービスの質に関する評価・業務実施状況の確認】 利用者満足度:本年度は第三者評価にて実施した。不満と回答する方は少なかったが、どちらともいえないと回答する方の割合が多く、満足度が下がってしまった。次年度は、もっと魅力的な活動を増やして満足度を上げていきたい。 利用率:本年度はコロナで休業することなどなかったため、昨年度より稼働率を上げることができたが、目標を達成することはできなかった。次年度は新規の利用者を増やすための工夫をしていきたい。	

【評価対象年度 2023年度】

【利用者満足度調査】

調査概要	【調査期間】	2023年11月23日～2024年3月30日
	【配布枚数】	80枚
	【回収枚数】	56枚
	【回収率】	70%
	【調査方法】	東京都福祉サービス第三者評価により、アンケート方式及び聞き取り方式で実施。

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A: 85%以上 B: 70%以上～85%未満 C: 70%未満	90%	82.1%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	90	90	90
実績値	97.4	88.2	88.5	92.9	82.1

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用率 (1日あたり平均)	A: 69%以上 B: 59%以上～69%未満 C: 59%未満	85%	74.6%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	81	83	85	85	85
実績値	69.5	71.7	75.0	71.2	74.6

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
栄養スクリーニング(栄養状態確認・共有)の導入人数	A: 10名以上 B: 5名以上～9名以下 C: 4名以下	7名	1名	C	
指定期間内における実績(単位: 名)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	5	6	7	7	7
実績値	4	4	4	1	1

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	概ね水準どおりである。 利用者満足度は昨年度から10.8ポイント低下し、目標値に届かずB評価となった。調査結果を分析し、次期指定期間における運営に生かしてほしい。 利用率については、昨年度から3.4ポイント上昇し、A評価を維持している。 栄養スクリーニングの導入人数については、昨年度と同じ実績値となり、利用者は伸びなかった。声掛けは継続して実施しているため、利用者等に理解を得られるよう、丁寧な説明を心掛けてほしい。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	平等・公平な取扱い	利用希望者全ての受入	利用希望者を全て受け入れていることをパンフレット、ホームページ等の各種媒体で確認。	適
	サービス内容の公開	パンフレット、ホームページなどでサービスの内容を公開	パンフレット、ひまわり通信でサービス内容を公開していることを各種媒体で確認。	適
施設・管理の運営方針	適正な自己評価	定期的な実施	定期的な自己評価を実施していることを東京都の自己点検票で確認。	適
	設備機器安全管理・保守点検	機器に応じた点検の実施	受水槽や自動ドア等、機器に応じた点検実施を保守点検票で確認。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報の適切な保管	保管場所のセキュリティを確保	個人情報に記載されている紙媒体は鍵のかかる書庫等で管理し、業務に使用するPC、タブレットはパスワードを設定していることを事業報告書で確認。	適
	情報公開の制度を周知	利用者等に制度を説明	情報公開についての取り組みを契約時に利用者へ説明していることを事業報告書で確認。	適
要望対応	対応記録の共有	要望・苦情記録簿等による情報共有	報告書を作成して毎日の朝礼、夕礼、全体ミーティング等で共有していることを事業報告書で確認。	適
	苦情の発生抑制のための対策	相談窓口の周知	契約時に利用者へ説明し、施設内にも苦情担当窓口を掲示していることを契約書等で確認。	適
危機管理	緊急時に備えた体制	マニュアルに沿った指導訓練の実施	災害対応マニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施していることを事業報告書で確認。	適
	リスクへの対応能力	保険等への加入	賠償責任保険等に加入していることを保険証券で確認。	適
人的安定性	職員の指導育成	計画的な研修の実施	法人内研修やe-ラーニング研修を実施したことを勉強会資料で確認。	適
	適切な人員配置	法令を遵守した人員配置	職種に応じた適切な人員配置がされていることを勤務表で確認。	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減に向けた取り組み	光熱水費や消耗品などの経費の縮減	消耗品等を法人でまとめて共同購入し、経費縮減を行っていることを事業報告書で確認。	適
	職員への周知・啓発	職員への周知・啓発の実施	節電、節水の掲示物を作成し、施設内に掲示していることを当該箇所の写真で確認。	適
地域貢献	地域教育機関等との交流	実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れ	大学生の仕事体験を28名、ボランティアを3名受け入れたことを事業報告書で確認。	適
	市民雇用	町田市民の割合が50%以上	職員24名中町田市民が14名であり、町田市民の割合が58.3%であることを職員名簿で確認。	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月30日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2024年1月30日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	各項目について、概ね記録書類が整備されており、要求水準を満たしていることを各種根拠資料にて確認できた。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算								
収入	指定管理料	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	利用料金	76,000	75,284	76,750	76,801	77,518	79,630	78,293	75,756	79,043	82,990
	自主事業	1,800	878	1,818	2,305	1,836	1,279	1,855	1,040	1,860	1,396
	その他	50	139	51	134	51	2,122	52	0	52	0
	計	77,850	76,301	78,619	79,240	79,405	83,031	80,200	76,796	80,955	84,386
支出	人件費	54,000	59,295	54,540	61,713	55,085	63,968	55,636	60,303	56,500	65,246
	維持管理経費	16,000	15,583	16,160	15,128	16,322	17,513	16,485	16,789	16,500	21,095
	自主事業	1,260	948	1,273	1,613	1,285	801	1,298	279	1,300	923
	その他	50	0	51		51	0	52	0	55	0
	計	71,310	75,826	72,024	78,454	72,743	82,282	73,471	77,371	74,355	87,264
総計(収入-支出)		6,540	475	6,595	786	6,662	749	6,729	-575	6,600	-2,878

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	-0.3	0.1	1.7	0.7	0.7
負債比率	590.9	588.5	589.4	525.9	489.0

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であった。利用率の向上により利用料金収入は増加しているが、介護人材確保のための人件費の増加及び物価高騰による維持管理経費の増加により、公の施設に係る収支は赤字が拡大した。